自分の考えを確かにし、道徳的実践への思いを持つことができる児童の育成

ー行動の意味を問う発問を基に、互いの考えを比較していく道徳の授業を通してー

特別研修員　道徳　吉田宏美（小学校教諭）

＜児童の実態＞　友達との行き違い、取組に個人差
考えを見つめ直せない

＜授業の実態＞　登場人物の心情を追うばかり
道徳的価値を一方向から見る授業

＜教師の願い＞　考えを見直し、道徳的価値を捉え、実践につなげたい

自分の考えを確かにする

手立て1

授業実践「分かり合える友達」2－（3）「貝がら」文渓堂（第4学年）

行動の意味を問う発問を基に、自分が大切だと思う行動を選び、意味を考える活動

・最初と最後の行動の変化を明確にして行動を比較する
・自分が一番大切だと思う行動の意味をじっくり考える

登場人物の行動を通して

「ぼくの行動が変わっていったのはなぜでしょうか。」
自分が大切だと思う行動を選び、大切だと思った理由やぼくの気持ちを考えて書きましょう。

ぼくが中山君に話しかけて、中山君が口をきいてくれた
「中山君のことが分かってうれしい」

ぼくのところに、中山君が見舞いに来てくれた
「心配してくれたらうれしい」「友達だと思ってくれてる」

手立て2

互いの考えを比較し、自分の考えを見直し、道徳的実践への思いを持つ活動

・発表を聞き合い、板書を見合い、比較して見直す
・友達の考えや資料と、自分の行動をつないで考える

自分の行動に照らして

理由や気持ちを発表して聞き合い、板書を見合い、自分にとって大切なこと、難しいことを見付けましょう。

ほめたから大切だと思った　話すきっかけになる

自分だったら笑われたくないから
中山君が話さない理由が分かった

友達に近付いてきたかは分からない
また笑われたらしゃべらなくなるかも…

インタビュー形式

いいなと思える友達とは、どんな友達ですか。

助け合いたい

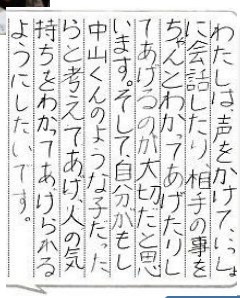
何でも言い合う

友達はそう思ったのか
自分だったらどうかな

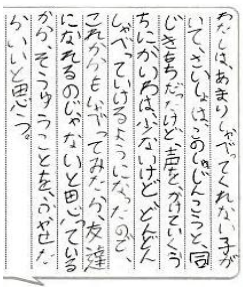
ワークシートに記述・発表

「友達として、よい関係をつくっていくためにこれから自分はどうしていきたいですか。」
考えを書いて、発表し合いましょう。

児童のワークシート



登場人物と自分を結び付ける



自分の体験と結び付ける

道徳的実践への思いを持つことのできる児童

今まで○○だったから…

○○が大切だ

私は○○したい

「これから自分はどうしていきたいか」

＜成果＞
○大切だと思う行動を選び、その意味を考えたことで、自分の行動を考えるきっかけになった。
○聞き合ったり見合ったりして、自分の考えを見つめ直し、大切さや難しさを見いだせた。

＜課題＞
○登場人物と自分の行動を重ねて考えられるような発問をさらに工夫していく。
○自分の行動への課題意識を持たせるための工夫をし、実践への思いを強くできるようにする。